

士防犯協会(会長・鈴木尚市長)に拍子木4組を寄贈した。

2006年から「空き巣抑止対策モデル地区」に指定されている同市厚原東3丁目では昨年10月に拍子木を使った夜回りを実施したところ、地域住民から「拍子木の音は安心する」という声が寄せられたため、地域安全推進員の杉山美さん(73)がマルダイに製作を依頼

し、実現した。

同市役所を訪れたマルダイの深沢一元会長と杉山さんが、鈴木市長と同協会顧問の野中茂樹富士署長に紫檀(したん)と檜(かし)で作った約20センチの拍子木を手渡した。鈴木市長は「住民の安心感につながるので大変ありがたい」と感謝した。

21日には寄贈を受けた拍子木を使い、厚原東3丁目地区で地域住民が夜回り活動を実施する予定。

拍子木4組寄贈

住宅資材販売会社
富士防犯協会に

地域での防犯活動に役立ててもらおうと、富士市大淵の住宅資材販売「マルダイ」が15日、富



鈴木市長、野中署長に拍子木を寄贈する深沢会長(左から2人目)と杉山さん(左端)＝富士市役所